

## 前橋市立図書館新本館基本構想・基本計画（案）に係る

### パブリックコメント（意見募集）の実施結果について

#### 1 意見募集期間

令和5年8月23日（水）から9月12日（火）まで

#### 2 意見提出者及び意見数

- ・意見提出者数：20人
- ・意見提出件数：22件

#### 3 主な意見

- （1）図書館新本館における諸室、スペース、機能、開館時間、イベント等の要望に関する事
- （2）複合施設内における図書館新本館の位置、基本設計、駐車場等、市街地再開発事業に関する事
- （3）前橋こども図書館の移転統合に関する事
- （4）現本館及び前橋こども図書館の跡利用に関する事

#### 4 意見の概要及び市の考え方

前橋市パブリックコメント手続実施要綱に基づき、いただいたご意見に対する市の考え方を公表します。

No.	意見の概要	市の考え方
1	前橋こども図書館が統合する上で、機能や利便性が劣ることのないようお願いしたい。今の前橋こども図書館およびプレイルームに大変満足している。図書館だけでなくプレイルームがあることで、子どもが自然と図書館も楽しむことができる。駐車場は、外へ出ることなく館内に入ることができるが、駐車場から図書館への距離が遠いと思う気が起きない。現本館との統合にあたって、子どもの声が迷惑ではないか不安もある。基本計画にはスペースを分けるよう記載があるが、近すぎたり、静かに本を	新本館では、さまざまな人々が利用しやすくなる魅力的な図書館とするため、現本館と前橋こども図書館を統合します。統合によって、子どもの話し声がフロアに聞こえるようになることで、館内にはおのずと対話を容認する空気が生まれることを期待していますが、静かな環境を望む利用者に向けては、集中読書室を設け、にぎやかな空間とゾーニングをすることとしています。子どものためのスペースとしては、児童・YA図書エリアとして、1,175㎡を確保して充実を図ります。

	<p>読みたい人の側を通る必要があったりすると気をつけていても苦情につながりかねない。苦情により子どもが出入りしにくい状況にならないようお願いしたい。前橋こども図書館の時より子ども用のスペースが少なくなる懸念もあるが、スペースは確保してほしい。</p> <p>また、頻繁に利用しているので、移行期間は前橋こども図書館が利用できないと思うと残念である。すぐ利用できるようになるとありがたい。新しい図書館になることを非常に楽しみにしているが、新しい図書館は利用しづらいから利用をやめたという結果になると悲しいので、現状以上の素晴らしい施設を期待している。</p>	<p>また、新本館への移行期間については、合理的な移転方法を検討していきます。</p>
2	<p>①開館時間と貸出、飲食のしづらさ</p> <p>土日祝日こそゆっくり図書館に入り浸って読書三昧したいので、17時閉館は早すぎる。平日も19時閉館では行けない。貸し出しや返却などには機械（セルフ）を利用し、最低限の警備員だけを配置したりして無駄な人件費を抑制し、夜間せめて22時頃までカフェバーと一緒に楽しめるようにしてほしい。カフェの雇用と売上も生まれ一石二鳥だと思う。カフェといっても学食みたいなものでは困る。本の内容にちなんだメニューを定期的に組むとか、イベントを行うとか、夜はアルコールを出すとか。ただの食堂以上のものを作らないといけない。でないと市民に広く愛されない。</p> <p>貸し出しの期限や予約の準備案内も、図書館アプリで確認できるようにしてもらいたい。利用者同士のSNS・バイトやボランティアのシフト管理・図書の貸し出し・イベントチケットの取得・カフェメニューのお知らせなどが専用アプリでできるようになるとよい。病院の予約のように、ボランティアやシフトも自分でスマホから入れられるようになれば、働きたいときに働きたい人が働けるようになる。めぶくIDがあるくらいなのだからできるのではないだ</p>	<p>①開館時間と貸出、飲食のしづらさ</p> <p>新本館はまちなかのにぎわい創出の機能も担うことを考慮し、開館時間・休館日については現本館を基準としながらも、他施設や商店街との調整や市民ニーズなども踏まえながら検討を進めていきます。ICTを活用した図書館の推進についても、新本館における強みとして継続して取り組んでいきます。また、専門知識を備えた司書の育成に取り組むほか、資料の排架方法については、過密で取り出しにくい現行の排架を解消して、資料の面出しやポップの設置などを活用することで、利用者の目を引く魅力的な棚を演出していきます。また、ブックカートの導入についても、開館準備を進める中で協議していくこととします。</p> <p>新本館では、読書ができるカフェを設けるほか、交流スペースも配置し、市民の日常の延長であり、居心地が良く安心できるリビングのような場を目指します。</p>

ろうか。マイナンバーカードや住民票などの個人情報と連携した入館カードやアプリを入場券や決済に利用できるようにし、未成年者の夜間利用を防ぐ、本の傷みなどの管理などに利用すれば、必ずしも窓口や受付で対応する人間を配置しなくてもよい。ただし、おすすめの本を教えてくれるコンシェルジュみたいに職員が構えていてくれたら大変助かる。あと単純に棚が見つらい。上の段、下の段は取りづらいし目に入らない。着物の本が最下段に移動したときには、何も考えていないと思った。私は着物で出歩くので、着物で図書館にも行くのだが、着物で最下段にある本を取るのがどれほど大変か。着物でなくても現在の最上段と最下段は無理。まして何冊も抱えて館内を歩くのは、無理。子連れや障害を抱えていれば、なお無理ではないか。図書を運ぶブックカート置いてほしい。カートがないと一日かけてゆっくり本を選べない。飲食は今のように学生のテスト勉強の合間用に申し訳程度に作ったエリアでは論外である。無料エリアはそれでもよいが、有料エリアできちんとお金を取って居心地よく過ごせる場所を作ってほしい。座りやすい椅子と、白を基調にしない明るすぎない店内、建物内で無理ならば中庭とかでもよい。書籍が汚れると困るのであれば、飲食エリアの読書は、専用アプリやタブレットで電子図書にすればよい。

## ②こどもとおとな

子どもに注力するのもよいが、次の10年20年の若年層の人口減は明らかに訪れる。これから子どもを作ろうとするターゲット、つまり成人の男女が楽しく暮らせる町にすれば、自然と子どもは増える。子どもが走り回る施設は図書館ではない。本を読むことは考えることである。体を動かす遊びとはまた別に静かに過ごす、それが読書の本来の姿である。走り回る施設を作るな

## ②こどもとおとな

新本館は、これまで図書館を使う機会がなかった人々にも気軽に利用してもらえるよう、全世代の人々をターゲットとして設定しています。その中でも、子どもの自主性や社会性を尊重する仕組みとして、ティーンエイジャーが利用したくなるデザインや文化的刺激を得られる空間づくりなどを行うこととしています。

また、静かな環境を望む利用者に向けて

らば読書エリアとは防音にして分けてほしい。なぜならしつけのできていない、しつけをあえてしない親子が、昔よりずっと多いからである。ただし紙芝居をしてあげたり人形劇をしたり、読み聞かせたり。そういうことには積極的に関わりたい。子育ての終わった大人、子どものいない人たち、そのような家族以外の大人たちが子どもたちに関われる場にしてほしい。親から見た子ども、子育ての場ではなく、子ども扱いせず、一人の人間として子どもに知を与える場が必要だと思う。

### ③図書館と書店と劇場のミクスチャー施設

文化に費やす所得は、この貧しい日本では今後ますます削られる部分であるので、公共の施設の果たす役割は非常に大きい。読書とイベント、例えばファッションショーや演劇や落語、音楽、伝統芸能などのミニイベントと、それを深く理解するための本を紹介する。最先端にいる人々を招いてそこに関連した本を紹介する。本に出てくるメニューをカフェで出す。学生を巻き込んでイベントを行う。講演会を行う。読書が好きな著名人を呼ぶ。本を収納するためのインテリアを考えるなど、本好きが知りたい、見たい、聞きたいことを発信する場になってもらいたい。図書館発の本好きのための雑誌（WEBサイト）を作るくらいの勢いで文化を発信できれば良い。オリジナルグッズやキャラクターも、子どもだましのキャラものでなく、おしゃれで持っていて恥ずかしくなく、定期的にデザインを変えて、まちなかイベントのときにもきちんと出店して売上を作り、それを元手に新たなイベントや本の購入に充てる。紀伊国屋書店の袋や煥乎堂の本をまとめる紙など、クラシカルなデザインなどはとてもステキだ。そうやって、税金の割り当てを待っただけでなく、自分たちの活動に自分たちで原資を作る姿勢を持ってもらいたい。前

は集中読書室を設けており、にぎやかな空間とゾーニングをすることとしています。その一方で、利用者同士が気軽に対話できる空間として交流スペースを設けることにより、世代間交流の実現を目指していきます。

### ③図書館と書店と劇場のミクスチャー施設

新本館は、地域における文化の入り口として、さまざまな文化や考えをつないでいくことが役割となります。そのために、周辺文化施設と連携し、文学や本に関連する美術作品を図書館フロアに設置したり、図書館員による、館外でのイベント実施も検討していきます。そのほか、館内には交流スペースも配置し、市民の日常の延長であり、居心地が良く安心できるリビングのような場を目指します。

また、運営形態は未定ですが、建物内には読書ができるカフェを設けます。あわせて、図書館のオリジナルグッズを制作し、販売も行えるよう、ショップの併設も検討していきます。

さらに、新しい（仮称）図書館サポーター制度を立ち上げ、文化活動の担い手を育成することとしています。

新本館整備については、建築有識者や図書館有識者で構成する図書館新本館アドバイザー会議委員からの助言を得ながら、業務を進めていきます。

	<p>橋こども図書館の「〇〇袋」のような企画は良かった。煥乎堂とコラボして、お金を出しても欲しい人には「有料版〇〇袋」を用意すればよい。アーツ前橋ともコラボして、図書館内に出張美術館するなど。</p> <p>本というのは背表紙だけ並んでいても全く分からないので、いかに読ませる工夫をするかだと思う。書店も生き残るのにいろいろ工夫しているが、図書館も同じで、ただ本を並べているだけでは駄目だと思う。クラウドファンディングなどをどんどん活用してお金をかけて楽しい施設を作ってもらいたい。老若男女市民の居場所を作ってもらいたい。無料だけど使えない施設より、多少有料エリアがあっても魅力的な場所を作ることが大事である。人は魅力があれば自然と集まるであろうから。</p> <p>ボランティアという言葉がよく出てくるが、司書の資格がない人間でも従事すれば図書館に愛着もわく。館内のイベントやカフェに使える金券を報酬にするなど、完全無料でない形にしてほしい。都会から移住してきて、都会のように書店や雑貨店、カフェなどが少ない環境で、車の運転ができない私では、まちなかの現状はかなりつらい。移住を考えるにしても私と同じような交通弱者は、現状この町を避けるのではないだろうか。今回の図書館建て替えが、このような現状を打破できるように、図書館を作り上げるメンバーの人は、図書館をよく利用する人にしてもらいたい。</p>	
3	<p>新図書館には、現本館2階にあるような展示スペースを併設して欲しい。前橋には資料館しかなく、歴史博物館がない。博物館機能を持った図書館を希望する。前橋市立図書館内にも貴重な資料を多く保管しており、以前から展示は不定期で開催しているが、認知されているとは必ずしも言えない。歴史博物館をつくる費用がないのであれば、図書館にそのような機能を設けても</p>	<p>新本館では現本館と同等程度(100㎡)の展示室を設置するほか、前橋の歴史や魅力を発信し、前橋の文化を感じてもらえるシビックプライドプレイスを新たに設置することとしています。</p> <p>新本館の建物のあり方については、現本館の記憶を継承しながら、本市の歴史や風土を生かした、長く市民に愛される魅力的な建物であることを目指します。</p>

	<p>よいのではないか。歴史を知ることが今を知ること。ぜひ、過去の歴史にも目を向けていままでない図書館を体現してほしい。全国から、最先端で足を運んでもらえる図書館は、いずれ最新ではなくなるが、その土地独自の文化や歴史というものは固有のものであって、他の地域では存在しない。だから、貴重でまた足を運びたくなるのだ。今回計画されている土地は、前橋町役場や日本銀行前橋支店、麻屋百貨店などが存在した歴史ある場所である。今を生きる人の中には、まだその記憶が残っている方もいる。全てを復元できなくてもデザインや形状などを建物に盛り込むことは十分できると思われ、記憶の中の風景を残してもらいたいと切に希望する。</p>	
4	<p>建築設計については、太田市美術館・図書館のようにガラス張りの建物で所蔵図書の背表紙が日焼けしてしまうのは問題だと思う。建築家の思いを優先するのではなく、所蔵図書を大切に管理できる建物にしてほしい。</p>	<p>新本館整備に関しては、令和5年度と6年度に施設建築物の基本設計・実施設計を行うこととしています。この中で、図書資料などの保存において支障のない施設となるよう協議していきます。</p>
5	<p>「市街地再開発事業では、新本館を商業施設やオフィスとの複合施設として建設していきます」とあるが、具体的に新本館の面積の何割程度をテナントとするのか。また、どのような商業施設やオフィスを想定しているのか。この方針について、記載のあった利用者の増加のほか、テナント料を図書館の管理費に充てるなどの利点は理解できるが、公的なものとしての図書館の位置付けが揺るがないよう、慎重に進めてほしい。</p> <p>図書館新本館基本計画（案）では、新本館の立地については記載があるが、現本館と前橋こども図書館の跡地はどのように利用されるのかが分からない。新しく作る建物だけでなく、残った建物や土地の利用方法についても、方針を決定する前に説明を聞きたい。特に、現本館は、老朽化に伴う問題があるのは承知しているが、それ自体</p>	<p>新本館の面積として計画している 8,000㎡は、全てが図書館の面積となります。どのような施設が入居するかについては、今後、市街地再開発事業全体の計画の中で公表される予定ですが、公共図書館としての使命が果たせるよう事業を進めていきます。</p> <p>また、商業施設とオフィスは、市街地再開発事業における他の地権者が取得する施設であるため、本市にテナント料が入ることはありません。そのため、図書館新本館基本計画（案）における「テナント」という表記については改めます。</p> <p>現本館と前橋こども図書館の跡利用については、現本館においては歴史的価値や立地を、前橋こども図書館においてはプレイルームとの関係性を考慮して、今後、本市全体で検討を進めていきます。</p>

	<p>が歴史のある建物である。また、新本館は文化施設や商業施設が集まる地区に建てられることになるが、官公庁エリアにもそのような施設が必要なのではないかと思う。図書館の移転に反対しているのではなく、市民だけでなく、高度な業務を行う官公庁エリアにとっても、知が重要であることを認識した上で跡地の利用方針を決めることが重要だと考える。</p>	
6	<p>現本館やと前橋こども図書館の跡地はどうするのか。教育文化の私立大学は定員割れが半数と多く、この現状をどのように考えているか。</p>	
7	<p>未就園児を持つ親としての意見を述べます。現本館と前橋こども図書館の統合によって、「子どもの話し声がフロアに聞こえるようになることで、館内には、おのずと対話を容認する空気が生まれることが期待できます」とあるが、そんなに単純な話ではないと考える。親子が読み聞かせをする声は小声であり、周囲に気を遣ったものになる。子を持つ親は、図書館に限らず、いかに周囲に迷惑をかけないか気を張っている。世の中全ての人が子育て世代に優しいとは限らないからである。</p> <p>前橋こども図書館は、通路が広く開放的で、背の低い本棚が多く、目視できなくても子どもの位置が把握できる。また、多少子どもが駆け回っても、騒いでも、お互い様で済む。読み聞かせスペースも広く取っており、椅子に座っても、靴を脱いでも、自由に聞くことができ、本に親しみやすい環境だと思います。休館日がほぼないことも嬉しい。子育てに休みはないので、暑い日寒い日雨の日関係なく気軽に行くことができる。また、プレイルームと隣接していることで、待ち時間に利用したり、普段本と触れ合う機会が少ない子どもも利用したりできて良いと思う。こんなにも子どもがのびのびできて、親も気が休まる図書館は他にはないと思う。前橋こども図書館とプ</p>	<p>新本館では、親子が一日中図書館で過ごすことができる滞在型図書館の実現を目指しています。</p> <p>乳幼児や小学生が楽しめる、子どものための読書スペースを設置し、子どもたちがおしゃべりをしたり、動いたりしながら、自由に読書を楽しめる広々とした空間をつくります。</p> <p>また、創造性を育む場としておはなし室を設置して、児童や保護者を対象にした読み聞かせを行ったり、靴を脱いで読み聞かせができたり、ブックスタート事業図書引き渡しにも活用できる空間を設けます。前橋こども図書館で実施している事業や活動、空間のあり方を、新本館でより良いものとして機能させられるよう、取り組んでいきます。</p> <p>なお、静かな環境を望む利用者に向けては集中読書室を設けており、にぎやかな空間とゾーニングをすることとしています。</p>

	<p>レイルームの存在が、前橋市が子育てしやすい街の理由の一つだと思う。統合するにあたり、前橋こども図書館の長所を多く盛り込んで欲しい。</p>	
8	<p>図書館の本体工事とは別に、公共工事には付帯設備の工事が重要であるため、中心市街地における都市防災設備も一緒に考慮すべきである。具体的には、防災避難所を兼ねた広場、平常時には広場は野外で本を読んだり、イベントが開催できたり、天候等に左右されない広場を覆う大屋根である。これらは箱物行政が主眼を払拭する意味においても、最重要付帯設備である。</p> <p>中心市街地の活性化の意味においても、奇麗な設備とでも言うべき図書館や教育文化施設の他に、老若男女が一緒に集う癒しの場所としてのスーパーや銭湯、ビアホール・飲み屋街が必須です。県立図書館と休日を別に設定してほしい。</p> <p>図書館の西街区には、100～150台規模の地下駐車場も設けられるとのことであるが、建設費が高い地下駐車場より民間業者における空き地利用の推進、平面駐車場を立体駐車場にすべき、補助金の方が工事費を抑制できるのではないか。駐車場が分散されることにより、一カ所に集中されず人との往来が安全・安心につながる。図書館の公共性から考えると駐車場利用は無料であるが、民間業者になれば経済が回る仕組みとなる。本を借りた人や喫茶店を利用された人には利用割引券の配布で済む。</p>	<p>施設周辺整備については、市街地再開発事業の中で検討を進めていきます。</p> <p>休館日については現本館を基準としながらも、他施設や商店街との調整や市民ニーズなども踏まえながら検討を進めていきます。</p> <p>駐車場については、敷地内に複合施設来場者専用の駐車場を確保するとともに、近接する市営立体駐車場との接続の検討など、敷地外の駐車場も併せて現状の47台より多くの利用者用駐車場を確保していくこととしています。</p>
9	<p>現本館の社会人読書室同様ではなく、プライバシーや感染予防に配慮した個人学習スペースを設置してほしい。シニアであっても個人スペースは必要である。YA個人学習スペースには社会人でも使用できるよう共有スペースとしてほしい。年齢でスペースを区別するのはいかがなものか。</p> <p>カフェスペースは自動販売機だけではなく、不定期でコーヒーショップが出店でき</p>	<p>新本館では、全世代の人々をターゲットに設定しています。さまざまな人々が利用したくなる魅力的な図書館を目指していくために、YA個人学習スペースだけでなく、資料研究のための個室や学習室、グループ読書スペース、集中読書室など、学習や読書のための多様な諸室を設けることとしています。</p> <p>また、建物内には読書ができるカフェを設けます。新本館は市民の日常の延長であ</p>



	<p>るようなカウンタースペースを設置してほしい。</p>	<p>り、居心地が良く安心できるリビングのような場を目指します。</p>
10	<p>集中読書室は社会人対象と思われるが、プライバシーや感染予防の見地から個別の机を配置してほしい。</p>	<p>集中読書室は、にぎやかな空間とはゾーニングをして、静かに集中して本が読める諸室として設置しますが、世代に関わらず、多様な人たちにとって使いやすい部屋となるよう整備を進めます。</p>
11	<p>周辺施設との差別化や共存を図る必要を感じる。また、新たな利用者が増加し、自由度も高くなることで、本の汚損や利用者間のトラブルが起きないように、目が行き届くような配置や使いやすい仕組みづくりが必要だと考える。</p>	<p>新本館は文化施設の集積する地域へ移転し、市街地再開発事業の一環として整備されるため、これまで以上に他施設とのネットワークが重要になります。その中で、新本館は地域における文化の入り口として、さまざまな文化や考えをつないでいくことが役割となります。また、施設整備については、利便性に優れた部屋の配置や機能性を重視した動線に配慮し、本にも人にも安全で開かれた空間とアクセスを実現していきます。</p>
12	<p>本は冊数がかさむと重いので、近くに駐車場がほしい。町中を歩くにも車に本を置いて散策するのが楽である。現本館と前橋こども図書館が一緒になっても、前橋こども図書館で行っているおはなし広場や始めて絵本の会場は新しい所でも作ってほしい。できれば広めにとってほしい。</p>	<p>駐車場については、敷地内に複合施設来場者専用の駐車場を確保することとしています。また、読み聞かせなどのボランティア活動のための諸室として、実際に読み聞かせを実施するおはなし室や、イベントのリハーサルを行う児童サービス支援室を設けます。</p>
13	<p>現在、前橋こども図書館で読み聞かせの会で活動している。前橋こども図書館の入り口で歳時記飾りなども行っているが、季節ごとに大きな飾りつけを会員で行っている。それらのものを収納するために、新本館では、余裕をもった収納部屋を確保してほしい。</p>	<p>○ 読み聞かせを行う部屋と備品倉庫 新本館では、特定の団体の占有とはしませんが、読み聞かせなどのボランティア活動のための諸室として、実際に読み聞かせを実施するおはなし室や、イベントリハーサルを行うことができ、備品を保管する倉庫も兼ねる児童サービス支援室を設けます。</p>
14	<p>前橋こども図書館での所属団体用の倉庫が大変狭いので、季節催事の飾り付け用品の保管用にもう少しスペースが必要である。ボランティア支援室の所属団体用の棚が、現状で目いっぱいなので、最低限、現状程度を維持してほしい。</p>	<p>○ 諸室、スペース、カフェショップなど 新本館では、読書ができるカフェや、ティーンエイジャーがグループで楽しく学習ができるYAグループ学習スペースを設けます。</p>
15	<p>長年、市立図書館を活動拠点としている読み聞かせの会に携わってきた。現本館か</p>	<p>乳幼児や小学生が楽しめる、子どものた</p>

	<p>ら前橋こども図書館への引っ越しの際、長い間、会で手作りしてきた大型紙芝居、紙芝居舞台、囲炉裏、障子などの財産、子どもたちのために各自が持ち寄って飾った歳時記飾りの品物などの格納場所に困っていたが、当時の館長の尽力により、書庫最奥の物置を使っている。しかしながら、狭隘のうえエレベーターの昇降口があるなど、物品の出し入れに非常に苦勞をしている。新本館建設においては、もう少し使いやすい物置にしていきたいと思います。</p>	<p>めの読書スペースを設置し、子どもたちがおしゃべりをしたり、動いたりしながら、自由に読書を楽しめる広々とした空間をつくります。</p> <p>バリアフリーやユニバーサルデザインへ配慮したベビーカー置き場、エレベーターなどにより、多様な利用者が使いやすく、対話を生み出す施設を目指します。</p> <p>児童用トイレのほか、授乳室やおむつ交換室も新たに設置します。</p>
16	<p>現在、読み聞かせの会に在席して、おはなしの会などに参加している。子どもたちのための読み聞かせのスペースはしっかりとってほしい。所属団体を歳時記飾りを毎月前橋こども図書館で飾っている。これも新本館でも続けられるよう場所、飾り物入れる倉庫をしっかりとってほしい。</p>	<p>○ フロア構成と駐車場</p> <p>複合施設内における新本館のフロア構成については、今後の市街地再開発事業全体の計画の中で決まっていきます。</p> <p>駐車場については、敷地内に複合施設来場者専用の駐車場を確保することとしています。</p>
17	<p>前橋こども図書館を中心に前も後も含め活動している団体の一員です。活動内容は絵本の読み聞かせと歳時記飾りである。</p> <p>※要望事項</p> <p>①ボランティア支援室の他にボランティア用の倉庫の拡充</p> <p>使用内容</p> <p>(1)歳時記飾り用品の保管</p> <p>(2)イベント用備品の保管</p> <p>対象の子どもが低年齢化しているので出し物もパネルシアター、エプロンシアター、バックの工夫など活動備品の保管場所も必要となる。今までも倉庫を利用しているが、余りにも狭く物の出し入れに一苦勞、箱も傷み、崩れてきている。他に必要としているグループも2～3ある。</p> <p>②受験生の公民館利用について</p> <p>一時的なものであるが、受験生が4～5人グループで前橋こども図書館の窓側で勉強している。ある程度リラックスして、ちょっとお友達と相談しながら一生懸命頑張っている様子を見ると、短期間そんな場所があっても良いと思う。</p>	<p>○ 前橋こども図書館の跡利用</p> <p>前橋こども図書館の跡利用については、プレイルームとの関係性を考慮して、今後、本市全体で検討を進めていくとともに、当該施設の備品等の扱いについては、新本館整備を進める中で協議をしていきます。</p>

	<p>どのような図書館が表れるか楽しみである。設計の時点一度見てみたいので、公表してほしい。</p>	
18	<p>図書館を利用した後、ゆったりと過ごせるように、同じ建物の中に食事をしたりコーヒーを飲んだりできる場所がほしい。小さい子どもたちが親と一緒に寝転んだり遊んだり食べたりとくつろげる部屋を子ども図書室の隣に用意して、本を見て楽しむこととタイアップできるとよいと思う。</p> <p>現在、前橋こども図書館でボランティアをしている。読み聞かせだけでなく、歳時記飾りをしている。その道具を収納しておく倉庫であるが、今の物は間口が狭く、物の出し入れにとっても不便をしている。横0.6m、縦2.7m、高さ0mである。これより広い倉庫を作ってほしい。子どもたちは飾ったものを見て、みんなとても喜んでいる。</p>	
19	<p>建物が何階建てでどんな構造かは分からないが、高齢者、ベビーカーの人が利用しやすいように図書館は1階部分にしてほしい。現在、前橋こども図書館を中心に、読み聞かせなどのボランティアをしているが、おはなしの会ができる複数のスペースがほしい。読み聞かせのボランティアが会議やバックヤードの活動で使用できる部屋が必要である。また、その部屋とは別に所属団体が所有する歳時記飾りなどの資材や備品を収納できる間口の広い十分なスペースを確保されたい。真に図書館が生き生きとした知の中心になるとよい。前橋ブックフェスは今年はやらないのですか。</p>	
20	<p>赤ちゃんへの読み聞かせをする部屋を設け、明るく開放的で参加する家族全員がゆったりくつろげるように工夫してほしい。駐車場から建物へ外を通らず出入りできること。内部全体がゆったりして明るく、スロープなどでぐるっと回って楽しめる場所にしてほしい。カフェのような場所を設置してほしい。前橋市民文化会館はほとんど使われていない。そこを改修して図書館と</p>	

	<p>して使用することは考えられなかったのか。複数人が同時に使える授乳室を設ける。特に女性用と子ども用、多目的のトイレを多数設置すること。前橋こども図書館で読みきかせ活動をしている。そのために大きめの倉庫や活動室が別々にほしい。特に、歳時記飾りをやっている。その道具を収納する場所である。図書館は建物の下の階に設置してほしい。車社会の群馬では、車へ建物に直接入れることが必要である。</p>	
21	<p>図書館はできる限り低い階（1・2階）にしてほしい。</p> <p>所属団体では、前橋こども図書館において歳時記飾りをしているが、新本館においても、飾れるスペースと、道具を収納する倉庫を要望する。倉庫も出し入れが楽な間口が広いと助かる。</p> <p>所属団体では、通常の読み聞かせのほか、夏・冬のフェスティバルなどのイベントを開催している。そのようなイベントも可能な読み聞かせスペースがほしい。</p> <p>授乳室やおむつ交換室など赤ちゃんのための施設を充実してほしい。</p>	
22	<p>図書館新本館基本構想・基本計画（案）を読み、新本館で全世代の者が本と共に同じ時間を共有できることが嬉しく楽しみなこととなった。</p> <p>おはなし会などの活動で、前橋こども図書館を利用している観点から、児童・YAエリアについてのお願いである。</p> <p>①おはなし室は、2つ以上設置してほしい。前橋こども図書館でも、ブックスタートの絵本配布、おはなし会、土曜おはなし会は、おはなしの部屋とおはなし広場の2カ所で同時に開催している。また、全世代向けのボランティア団体の増加も視野に、イベントを各ニーズに合わせて同時でも行えるよう、25人程度と40～50人程度の部屋かスペースをお願いしたい。</p> <p>②駐車場については、どの世代の方も身の不自由な方も赤ちゃんとも安全に、気</p>	

軽に図書館を利用できるよう、直結の広い駐車場を整備してほしい。

③図書館のフロアは、1階に設置してほしい。

④前橋こども図書館では、季節・行事毎に入口付近に歳時記飾りを所属団体で行っている。新本館でも来館者に、季節や行事の趣や楽しさなどを引き続き伝えたい。飾るためのスペースと共にそれらの備品・用品の収納についても十分なスペースを確保してほしい。

⑤今年度、新たに所属団体の文庫を持つこととなった。その収納・管理と会員、各団体への貸し出しができるよう、書棚などのスペースの確保をお願いしたい。

⑥児童サービス支援室について、多グループで使うことを考えると、イベント用備品倉庫は空間を仕切っていただきたい。

⑦前橋こども図書館では、赤ちゃんや幼児さんの利用も多いことを嬉しく感じている。児童・YA図書エリアに乳児・幼児のスペースの設置をお願いしたい。

⑧前橋プラザ元気21にプレイルームが残るのであれば、絵本・児童書のコーナーを一部作れば、機会が増えるのではと思う。

⑨前橋こども図書館の壁画、荒井良二さんと子どもたちの作品、一部でも新本館に移設できたら嬉しい。

各世代、赤ちゃんから子どもたち、保護者が気がねなくのびのび、YA以上の人は時にゆったり、時に集中して、それぞれのニーズが保証される、安心安全な心地よい温かい雰囲気図書館になるとよい。

図書館職員には、日頃から各ボランティア団体の指導やサポートをもらい、心から感謝を伝えたい。引っ越しに向けて、負担が重くなり過ぎないように。

※とりまとめの都合上、意見等の内容は適宜要約しています。